

いしだ便り

第 38 号

2022年7月28日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会



2億円事業の残予算について 6月役員会で協議

役員会の前に伊達市より本事業残予算について次の説明がありました。

- 一、霊山頂上のトイレ整備の実施及び子供の村関係に使用する。
- 二、石田ふるさと振興会で実施できる予算は五百万円のみで補助金交付要綱により令和五年度までに実施すること。

以上の内容を受け入れざるを得なかったため五百万円の事業を役員会で協議した結果次の事業を市に打診することになりました。

- 一、買い物難民のための福祉車両購入
- 市との打ち合わせの結果は、福祉車両は可能との返答がありました。



役員会で今年度の夏祭りとはヒガンバナまつりの実施を決定しました。

夏祭りは八月十三日 土曜日午後七時より場所は石田小学校で

子供花火大会及び花火大会を実施します。

ヒガンバナまつりは九月十八日 日曜日 軽トラ市、ウォーキング、フォトコンテスト実施予定です。

この人紹介

霊山町でアクリルガラス絵作家をしている石川陽一郎さんです。



画家名 YOICHI-RON (よいちーろん)として活動されています。

福島県伊達市霊山町に移り住んだのは二〇二二年三月三十一日になります。霊山町出身の妻とSNSを通して知り合い古巣の和歌山県から福島県伊達市霊山町に来させていただきました。

霊山町石田は、四季の移り変わりの色濃さがとても印象的で、あまり雪の降らなかった南の地域から越してきたので、冬雪が降ると通り慣れた道も違う土地に来たかの様な錯覚を起こす程。

その冬が終わると、とても穏やかな春。こちらの桜の多さにとっても驚きました。

夏には、野菜や果物が育ち始め田畑も賑わい忙しい中にも人々は幸せそう。

秋の収穫時期、気候も涼しくなり始め、労を勞う芋煮会。この風習もこちらに来て知りました。

美しい景色。美味しい食べ物。暖かい人達。本当に素晴らしい所に住める喜びを感じながら絵の制作が出来て自分は幸せ者だなあと感じていきます。

今後、少しでも地域のお役に立てる様頑張りたいです。

今後共宜しくお願い致します。



石戸地区交流館に寄贈された作品です

交流館改装お披露目

四月九日、十日の二日間にわたり石戸地区の方々にヒガンバナフォトコンテストの全作品の展示と本格的な加工調理室などを見ていただき、新たな調理器具の使い初めを兼ね来場された方全員に赤飯を配ることができました。



サロン、女性委員会の方々から美味しい赤飯を配っていただきました



昨年も多くの写真が出品されました

三年ぶりに石田っ子クラブが開催されました

コロナ感染防止のため二年間開催出来なかった石田っ子クラブが七月三日に開催することができました。待ちに待ったこの日は大友靖子さんによる昔話を聞いたり、紙飛行機を飛ばしたりして暑さにも負けず元気に楽しんでいました。



新しい調理室で作ったカレーをみんなで食べました



自由時間は校長先生と卓球などで遊びました



大友靖子さんの昔話はとても上手で面白いです

▶雨天のため体育館と
なりました



▲紅白全学年による大玉転がし

石田小学校
最後の

運動会



五月二十二日石田小学校最後の運動会は、
あいにくの雨天により屋内体育館で行われま
した。全校生徒十一人が元気に精一杯競技す
る姿を多くの地区民が会場に訪れ声援し熱気
に満ちた最後にふさわしい運動会でした。



▲会場にいる全員で記念写真を撮りました。



▲紅白玉入れ大人の部です。
山盛り入りました。

◀紅白綱引きはで全学年とお母さんで対決しました

河川愛護実施される 振興会で草刈り協力依頼する

伊達市から河川愛護中止の知らせがありました。石田ふるさと振興会では各行政区に河川のヒガンバナ植栽箇所、草刈り奉仕作業協力を依頼したところ、多くの行政区で実施していただきました。



きれいに草刈された石田宮下地内の石田川

交通安全協会石戸分会 支障木伐採、カーブミラ清掃実施

交通安全協会石戸分会役員二十二人は七月三日午前九時から草や木により通行に支障となっている道路箇所の伐採と国道のカーブミラーを清掃しました。本事業は毎年実施されており場所は名目沢から小石田に抜ける大柗地内と中山から山戸田に抜ける中山地内と

なっています。カーブミラー清掃は坂の上から土関地内迄実施しています。



大柗地内を草刈り



国道一五号線沿いにあるカーブミラーを清掃

中瀬の斎藤幸夫様から御母堂斎藤テル様ご逝去にあたり石田ふるさと振興会に多大なご寄付をいただきました。

調理室運営委員会より

遠藤 幸江

調理室運営委員会は、ふるさと振興会女性部内に出来た十名の委員「石田ふるさと味のレシピ集作り編集委員会」「女性部役員」「食

生活改善推進員」で構成されています。多目的調理室と農村加工実習室の改修工事が三月に終わり四月にリニューアルオープンしましたが、6月末までは、新しく買った機械や器具の使い方を覚えること、衛生面の充実、不足している物品の補充などをして七月から地区のお皆さんに利用していただける運びとなりました。

農産加工施設事業内容につきましては、地産地消のサイクルを作り出し地区の伝統料理の継承、新たな六次化産品の開発・商品化・販売を行い地区民との交流や経済的な活性を図る事となっています。そのため調理室運営委員会を立ち上げ味噌、麴、ピザなどを作り現在は、食べる甘酒ゼリーの試作を行っています。

6次化産品開発に興味のある方は、またはグループを募集しています。是非参加してください。

